

競技・審判上の注意

1. 競技上の注意

1) 競技規則について

本大会は、平成27年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程および同公審判員規程により行います。

2) 競技方法について

各種目ともトーナメント方式とし、3位決定戦は行いません。

3) 団体戦メンバーおよびベンチについて

チーム構成員は、チーム役員(部長・監督・主将・主務 各1名、コーチ2名まで)、選手4~10名とします。ベンチ入り出来る者は、チーム構成員を限度とします。
なお、ベンチは主審に向かって右側を若番とします。

4) 団体戦メンバーの変更について

チーム構成員の変更は、10月9日(金)の代表者会議受付時に受け付けます。

5) 団体戦オーダーの提出について

各チームの代表者は、本部の指示に従って オーダーを提出してください。 各日、初回の試合のオーダーは、9時 15分 までに提出してください。 なお、対戦相手との 交換分は 試合開始の整列時に主審よりお渡しします。

6) 選手の集合について

試合の進行状況により、試合開始時間やコートを変更して試合を行う場合があります。

選手は原則として、試合開始予定時間の1時間前には試合会場にて待機して下さい。
試合は、試合番号順に空いたコートから入れていきます。本部より事前のコールのあった各チーム・選手は、試合のコール後、速やかに 直接コートに集合してください。 団体戦の場合は整列時、オーダーに欠員が生じた場合、そのチームを棄権とします。 また、コール5分以上経過してコートに選手が揃わない場合には、レフェリーの判断により棄権とみなし、あらかじめ棄権がわかっている場合には、代表者会議の際に申し出てください。
(所定の棄権届出用紙に必要事項を記載し、提出していただきます)

7) 練習時間について

団体戦・個人戦ともに、試合ごとにトス後2分以内の練習を認めます。また、シングルスの場合には対戦相手と練習を行ってください。 各試合前・開場後の練習時間を除き 空きコート・メイン体育館内で、シャトルを打っての練習や素振り等の練習はできません。
(なお、全日すべてのサブアリーナでの練習を認めます)

8) 団体戦の試合順序および打ち切りに関して

団体戦は、第1単―第2単―第1複―第2複―第3単 の順に行い、勝敗決定後は並行試合を含む、全ての試合を打ち切りとします。

9) 連続試合の間隔・団体戦の並行試合について

連続試合の場合は、試合終了後 20分程度を空き時間とします。 ただし、団体戦においては、第2単と第1複、第2複と第3単 を兼ねている場合にはこの限りではありません。
また、時間の都合上、同一団体戦の試合を2試合以上並行して行うことがあります。
並行試合をすることにより、同一選手の試合が連続する場合には、20分程度を空き時間とします。

10) インターバルについて

すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えない インターバルを認め、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認めます。

11) アドバイスについて

シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ中にアドバイスを受けることができます。コーチは、許可されたインターバルを除き、指定された椅子に着席するものとし、チェンジエングスの都度、帯同するサイドへの移動をお願いいたします。
各コートのバックバウンダリーライン後方に、コーチ席を2席配置します。
監督・コーチはマッチ中、ふさわしい服装で臨んでください。

12) 競技時のプレーヤーの服装について

色付き着衣を使用する場合は(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とします。
また、上衣背面に所属する大学名をはっきり確認できるよう明示してください。
ゼッケンを使用する場合には四隅をしっかりと固定してください。
(表示については大会運営規程23条を遵守して下さい。
ロゴの表示については全日本学連盟に申請しているのみに限ります。)

13) シャトルについて

シャトルは、第1種検定合格品を使用し、銘柄の変更には応じられません。
マッチ(試合)及び団体戦一対抗内は、1銘柄固定とします。
また、使用シャトルのスピードについては、レフェリーが決定します。

14) 携帯電話について

プレーヤーは、マッチ(試合)中のコートまたは、コート周辺では携帯電話の電源はオフにしてください。また、コーチ席やベンチにおいても、携帯電話の使用は禁止します。
マッチ(試合)中のコートまたはコート周辺でのプレーヤーの携帯電話が鳴った場合、
競技規則第16条6項(4)の違反とみなし、競技規則第16条7項を適用します。

15) 試合中の怪我や病気について

試合中の怪我や病気については、主審の判断によりレフェリーが呼ばれ、レフェリーが
その後判断の決定をします。尚、試合中の怪我や病気の応急処置は、
主催者側で行いますが、その後の処置は、各自の責任とします。

16) 競技マナー

選手は、プレー継続の妨げになるような行為は慎んでください。不品行な振る舞いとして処置します。
また、試合終了時に、主審(サービスジャッジ)とも握手するよう心掛けてください。

2. 審判上の注意

1) 審判の担当について

団体戦・個人戦ともに、主審は主管者で行います。団体戦10月10日の線審は、各大学での担当制とします。試合をするコートとは別のコートの線審を行ってください。
また、個人戦(1~3回戦)の線審は、各日初回の試合は主管者で行いますが、以降の試合については、敗者の方が線審を行ってまいりますので、そのコートから離れないで下さい。
4回戦以降の試合はすべて主管者側でおこないます。
団体戦の得点表示は、両チーム相談の上、行ってください。個人戦の得点表示は各大学持ちよりで行ってください。ご協力をお願いいたします。

2) スコアリングシステムについて

すべての種目を21ポイント3ゲームのラリーポイント制で行います。スコアが20点オールになった場合には、その後最初に2点リードしたサイドが、そのゲームでの勝者となり、スコアが29点オールになった場合には、30点目を得点したサイドがそのゲームでの勝者となります。

3) プレーヤーがコートを離れることについて

プレーヤーは競技規則第16条第2項のインターバルを除き、マッチ(試合)中、主審の許可なしにコートを離れてはなりません。給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。なお、給水の容器についてはフタ付きのものとし、倒れてもこぼれないものを使用してください。缶や紙パックのドリンクの持ち込みは禁止とします。

4) プレーヤーの遅延について

プレーヤーは、どんなことがあっても体力や息切れを回復できるように、またはアドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはなりません。また、コート内を不必要に歩き回ったりすることは許されません。

5) コートの外からのアドバイスについて

シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ(試合)中、アドバイスを受けることができます。

6) プレーヤー以外の競技者がコートに入ることについて

プレーヤー以外の競技者は、原則としてコートに入ってはなりません。競技規則第16条第2項に定めるインターバルでは、どちらのサイドも同時に2人までコートに入ることが

できます。これは、エンドを替えた後入り、主審が「・・・20秒」とコールしたらコートを離れるものとします。

7) シャトルの交換について

マッチ(試合)中のシャトルの交換は、主審が必要かどうかを決定します。

8) 不品行な振舞いについて

競技規則第16条 第4項、第5項、第6項のいかなる違反に対しても、主審は次の処置をとります。

(1)違反したサイドに警告をします。

(2)一度警告の受けた後、再び違反した場合は、そのサイドをフォルトにします。

(3)目に余る不品行な振舞いをしたり、またはそれを続けたりした場合には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長(レフェリー)に報告します。

9) 判定への質問について

審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーが 団体戦の場合は、当該プレーヤーと監督またはコーチに限り質問することが認められます。個人戦の場合はプレーヤーの質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはなりません。

10) マッチ(試合)中の棄権について

マッチ(試合)中に 選手から棄権の申し出があったときには、主審は直ちに 競技役員長(レフェリー)に報告します。

11) 線審の判定について

線審は 担当ラインについて、「イン」・「アウト」・「判定できない」を判定し、合図をしてください。また、アウトのときは、大きな声で「アウト」とコールしてください。

3. その他 の注意

1) 部旗・応援旗の掲示について

部旗等は競技に支障をきたさない大きさのものを使用してください。競技に支障をきたすと判断される場合には、移動をお願いいたします。また、部旗等は観覧席に掲示するものとし、貼り付ける場合には必ずひもを使用してください。

取り付け時には、大会本部の指示に従ってください。

2) ビデオ撮影について

試合中のビデオ撮影は、バッテリー使用による撮影のみ認めます。 体育館内の 電源を使用することは禁止します。

3) ごみについて

大会中に発生したごみは、各自必ずお持ち帰りください。

また、館内の自販機以外で購入したペットボトルは、必ずお持ち帰りください。

(館内の自販機に設置してある空容器収納ボックスに絶対捨ててはいけません)

4) 喫煙について

会場内での喫煙は、館外に指定された場所以外では絶対吸わないでください。

トイレで喫煙するような行為があれば、大会が続行できませんので絶対しないでください。

5) 飲食について

アリーナ内での飲食は禁止します。

6) その他

①フロアー内は土足禁止です。フロアー内では必ず室内シューズを着用してください。

②ロージン・雑巾・氷嚢等をフロアー内に持ち込む場合は、床を保護する物を下に敷いてください。また、フロアー内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止しますが、ラケットバックに入る程度の小さなクーラーバッグは持込を認めます。 飲み物用のカゴをコートサイドに用意しますのでその上に置いてください。インターバルの時を除き、氷嚢は使用しないでください。ただし、万が一床を濡らしたり、汚した場合には速やかに清掃してください。

③貴重品は、各自でしっかりと管理してください。 盗難・紛失には責任をおいせん。

④会場内での事故による応急処置はいたしますが、その後の責任は各参加者の負担となります。 また、傷病発生の場合には、必ず大会本部まで届け出てください。